

開港5都市景観まちづくり会議 2016長崎大会 開催記録

継承と発展～次の世代の景観まちづくり～



開港5都市
景観まちづくり会議



神戸

長崎

新潟

函館

横浜

開港5都市

景観まちづくり会議 2016

2016年11月4日(金)～6日(日)





平成28年11月4日から6日にかけて「開港5都市景観まちづくり会議2016長崎大会」を開催しました。期間中は、小春日和の晴天にも恵まれ、盛況のうちに終えることができましたことを遠方からご参加いただいたみなさま、ご協力いただいた関係者のみなさまに心から感謝とお礼を申し上げます。

今回の長崎大会は、「継承と発展～次の世代の景観まちづくり～」をテーマに掲げ、これからの時代を担う各方面の若い人たちにも企画段階から参加いただき、これまでの活動が未来へつながり、さらに広がっていくものと確信できる大会となりました。函館、新潟、横浜、神戸のみなさまにもお楽しみいただけたものと思っています。

来年の新潟大会でもみなさまとお会いできることを楽しみにしています！

開港5都市景観まちづくり会議長崎大会実行委員会
実行委員長 桐野 耕一

もくじ

プログラム	P 01
全体会議 1	P 02
ウエルカムパーティ	P 07
分科会 1	P 08
分科会 2	P 10
分科会 3	P 12
オプション企画 1	P 14
オプション企画 2	P 16
FG 会議	P 18
行政会議 代表者会議／全体会議 2	P 19
大会アピール	P 20
思ひ出写真	P 21
開港5都市景観まちづくり会議の沿革	P 22
開港5都市景観まちづくり会議規約	P 23
長崎大会実行委員会規約	P 24
実行委員会 参加団体 協賛	

プログラム

11月4日(金)

- 14:00～受付開始
- 15:00～17:30

全体会議 1 会場：ANAクラウンプラザホテル長崎グラバービル

- 18:00～20:00

ウェルカムパーティ 会場：ANAクラウンプラザホテル長崎グラバービル

11月5日(土)

- 9:00～16:30

分科会 1 「サインでさるく長崎のまちなか軸」

- チームA** 中華ゾーン、賑わいゾーン
- チームB** 市場のゾーン、和のゾーン

分科会 2 「斜面地の未来をさるく」

十善寺・館内地区、東山手・南山手地区

分科会 3 「深イイ歴史in 深堀」

深堀地区、高島地区、出島和蘭商館跡

- 18:00～21:00

オプション企画 1 「世界新三大夜景を眺めながらの懇親食事会」

会場：出島テラス

オプション企画 2 「FG だよ全員集合！DEJIMAでパーリナイッ☆」

会場：出島内外倶楽部レストラン

11月6日(日)

- 9:00～9:50

行政会議 会場：南山手地区町並み保存センター

FG会議 会場：南山手地区町並み保存センター

- 10:00～10:50

代表者会議 会場：南山手地区町並み保存センター

- 11:00～12:00

全体会議 2 会場：旧香港上海銀行長崎支店記念館

全体会議 1

会場：ANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒル グラバーホールA

参加者：150名

概要

大会テーマについて、基調講演や各都市事例紹介、パネルディスカッションを通して、様々な都市の条件において、いかに景観まちづくりを継承していくべきか議論が交わされました。会議の終盤、サプライズな演出により感動の涙が溢れました。



あいさつ

桐野実行委員長あいさつ

ようこそ長崎へお越しいただきました。最近の長崎のまちは、世界遺産登録や世界新三大夜景選定、大型客船入港などによりとても賑わっております。今回、少子高齢化など様々な問題があるなかで「継承と発展～次の世界の景観まちづくり～」をテーマにいたしました。20代～30代のたくさんの若者に実行委員会に入ってもらい、意見をたくさん取り入れてきました。この3日間がみなさんにとって有意義な時間になることをお祈りしております。



田上市長あいさつ

ようこそ長崎へお越しいただきました。この会議は、日本のまちづくりの中でも非常に貴重でユニークな会議です。昨年、居留地時代のご縁もあり、ラグビーワールドカップ2019のスコットランド代表キャンプ地に長崎市が決まりました。5都市は海外にご縁があり、歴史だけでなく未来へつながる「種」を頂いている都市です。この会議がきっかけになり、新しい種が生まれ未来に繋がっていく場になればと思います。



プログラム

- 15:00～ 1. 開会
- 15:00～15:05 2. 主催者あいさつ
開港5都市景観まちづくり会議 長崎大会実行委員会 委員長 桐野 耕一
- 15:05～15:10 3. 開催都市あいさつ 長崎市長 田上 富久
- 15:10～15:30 4. 長崎市景観専門監について
九州大学持続可能な社会のための決断科学センター 准教授/長崎市景観専門監 高尾 忠志
- 15:30～16:20 5. 各都市活動報告
- (1) 函館市 函館の歴史的風土を守る会 会長 佐々木 馨
 - (2) 新潟市 新潟市都市景観形成市民団体連絡協議会 会長/
NPO法人にいがたエキナン会 副理事長 肥田野 正明
 - (3) 横浜市 abanba 代表 番場 俊宏
 - (4) 神戸市 旧居留地連絡協議会 副会長 松岡 辰弥
 - (5) 長崎市 斜面地・空き家活用団体つくる 代表 岩本 諭
- 16:20～16:30 6. 休憩
- 16:30～17:30 7. パネルディスカッション
- 函館市 函館の歴史的風土を守る会 会長 佐々木 馨
 - 新潟市 新潟市都市景観形成市民団体連絡協議会 会長/
NPO法人にいがたエキナン会 副理事長 肥田野 正明
 - 横浜市 abanba 代表 番場 俊宏
 - 神戸市 旧居留地連絡協議会 副会長 松岡 辰弥
 - 長崎市 開港5都市景観まちづくり会議長崎大会実行委員会 委員長 桐野 耕一
[コーディネーター](一社)ナガサキペイデザインセンター 代表理事 梅元 建治
- 17:30～ 8. 閉会

基調講演

講演要約

私は土木・景観が専門で、大学卒業後に設計事務所で働き、現在は九州大学にいます。田上市長よりお声がかかり、長崎市で景観専門監をしています。

いま、長崎市では様々な事業が動いております。長崎駅までの新幹線開業、県庁移転、出島の6棟復元と表門橋架橋と公園整備、繁華街の路地整備などです。「100年後の基盤をつくる10年としたい」という市長の思いで、「公共事業の質を上げる」「職員の人材育成する」2つのミッションを頂いております。4年間、週に1回、のべ200回以上長崎に来ており、計画づくりから公園整備、水道管の塗替えまで大小合わせて70事業程度アドバイスをしてきました。今回は2つだけお話しします。

明日の分科会のコースでもある深堀地区内の土地を市が購入し、支所の駐車場と住民のための広場にすることになりました。設計にあたり、長崎大学・九州大学の学生と一緒に取り組み、地域の方から敷地の使い方のアイデアを頂き、学生課題で設計コンペを行い、その案をベースに地域と検討を重ねてきました。その結果、状況に応じて使い方を換えられるような設計となりました。

次に鍋冠山展望台です。グラバー園の上にある夜景スポットをバリアフリー対応するために改修することになりました。当初、コンサルが持ってきた図面がバリアフリーに特化しすぎたデザインになっていて、魅力的ではありませんでした。そこで、「京都の東山三十六峰」を参考に、鍋冠山から見える眺望を分節化しようと考えました。長崎湾の全体の地形や近代化の歴史が俯瞰的に見える場所であることが分かったので、高さなどを詳細に検討しました。その結果、世界遺産が5つ見える展望台となりました。

「景観まちづくり」という言葉は曖昧ですが、地域と行政が連携しながら、魅力を高める整備と魅力を見つめ直し表現する活動とがちゃんと繋がっていくことが大事だと思っています。今回は、長崎のまちづくりにおいて住民と行政の連携についてアドバイスを頂ければと思います。



高尾 忠志

九州大学持続可能な社会のための
決断科学センター准教授/
長崎市景観専門監

地域計画家。博士（工学）。技術士（建設部門）。九州大学持続可能な社会のための決断科学センター准教授。専門は地域計画、景観、土木デザイン、文化財。東京大学大学院修了後、(株)アトリエ74建築都市計画研究所、九州大学景観研究室を経て2014年より現職。長崎市景観専門監、日南市中心市街地活性化事業チーフディレクタ等を務めながら、産学官での実践能力を養成する大学院教育プログラムの構築に携わる。



深堀地区における住民WS



深堀地区広場整備イメージ



鍋冠山展望台（全景）



鍋冠山展望台（夜景）

各都市活動報告

函館市

函館の歴史的風土を守る会 会長 佐々木 馨

平成22年6月、二十間坂に「女神像」が設置された問題ですが、甲斐があつて今年6月、撤去に至りました。また、歴史的建造物の保存の拡充を今年度より開始し、第1号として国内で二番目に古い木造幼稚園、遺愛幼稚園の援助を行い無事完了しました。若い世代によるまちづくりですが、建築や不動産などのプロ4人が「函バル不動産」を立ち上げ、空き店舗のリフォームなどを行っています。西部地区では高齢化や過疎化が進んでいますが、価値ある建物を壊さず、継承と発展という意識を取り入れながら輪を広げていきたいと思っています。



新潟市

新潟市都市景観形成市民団体 連絡協議会 会長 NPO法人にいがたエキナン会 副理事長 肥田野 正明

今年の「景観講座」では、横浜の建物をモチーフにした2代目「運上所」を紐解く内容で実施いたしました。「花絵プロジェクト」は、駅前広場などを活用し広がっております。伝統の「灯玩」という手押し車の継承活動が盛んで、ビームスで販売されたり、ディズニー映画とコラボするなど、ローカルと世界を繋げる活動をしております。光のイベント「光のページェント」は今年で29年目。雪の影響で電球が切れやすく、事業継承が危ぶまれましたが、昨年からの障害者施設でLEDづくりをしております。取り組みは地域や教育という方向へ活動が広がっています。



横浜市

abanba 代表 番場 俊宏

新市庁舎は、2020年の竣工を目指しデザインビルド方式で発注され、大岡川の水辺に開いた市庁舎になりそうです。現庁舎については保存活用されるようです。歴史的景観保全の取り組みとして、老朽化した防火帯建築をデザイナーらと活用する実験が始まりました。「特定景観形成歴史的建造物制度」も創設され、第1号として「旧円通寺客殿」が指定されました。民間活動では、みなとみらいの「グランモール広場」や黄金町の「CASAKO」、綱島のApple社研究施設など、新スポットが誕生しています。そのほか、「スマートイルミネーション」や「関内外OPEN」などの取り組みも行われました。



神戸市

旧居留地連絡協議会 副会長 松岡 辰弥

トアロード地区では、若手の方が賑わいづくりのためのワークショップを開催し、11月に古写真展を開催されるそうです。みなと元町タウンでは、マンションが増加するなかで、住民との意見交換を行っています。南京町では、春節祭などのイベントが長年に渡り継承されています。旧居留地では、約100社の会員が歴史的建造物を守る活動をしております。夜景に関する街歩きと意見交換を行い、建物改修の際にライトアップをお願いしました。阪神淡路大震災を忘れないため、防災訓練や音楽コンサートなど実施。メンバーが転勤で入れ替わるので、継承のために懇親会なども行っています。



長崎市

斜面地・空き家活用団体つくる

代表 岩本 諭

長崎の斜面地では、空き家・空き地が増えて問題となっています。そこで、浪の平地区にある10年間空き家になっていた築70年の古民家をシェアハウス兼コミュニティスペースとして活用しています。斜面地ならではの景観を活かした花火観賞会やピクニックなどを開催し、斜面地の良さを伝えています。また、精

霊船製作やまちづくり協議会などの地域行事にも参加しています。暮らしを実践しながら、地域課題の解決に繋がっていきたくと思っています。そのほか、今年の「居留地まつり」では、多くの若者が企画運営に関わることができました。



パネルディスカッション

パネラー



ディスカッション

梅 元：テーマである「次世代への継承」について、各都市の取り組みはいかがでしょうか。

佐々木：五稜郭で行われる市民創作劇は30周年。小学生から参加し、縄文から現在に至る函館の歴史を表現します。また、歴風会では子供らを対象とした写生コンクールを15年間開催しています。

肥田野：「産学官」と言われますが、最近では「学・女性・産」という優先順位でやるのが大事だと思っています。水辺の活用も積極的に行われていますし、ゴスペルでコミュニティづくりをやりたいという面白い方も出てきました。

番 場：「女性」がキーワードです。「ママりょくの会」というものがあって、デザイナーに子供のおもちゃを作ってもらったり、クリエイターを上手く使っています。

松 岡：居留地は業務地なので、2～3年ごとに継承しています。住民が少ないので、飲み会やボウリングなど、遊びを通して出てきてもらっています。この繋がりが阪神淡路大震災では役に立ちました。活動で出席率が高いのはボラ

ンティア。そこで若い人に活動を周知し、次世代にどう繋ぐかを考えたいですね。

桐 野：大事なのは景観まちづくりの前に、子供たちと共感を生むことです。まちづくりには「地縁系」と「テーマ系」があり、居留地は地縁系でやってきましたが、最近では居留地をテーマに若い人のやりたいことを実現するようにしています。「居留地合唱団」も同じです。テーマ型はこれから面白いです。

梅 元：取り組みの課題について、佐々木さんいかがですか。

佐々木：函館の経済を築いた「高田屋嘉兵衛」という幕末の商人がおりますが、名前が知られていない。また、氏の資料を設備の問題から市で保存できず、東大に一時保管しています。こうした人物を知ってもらうこと、行政で歴史資料をしっかりと保管することで、子供らに継承する必要があります。

梅 元：保存と継承、活用をいかにマネジメントするかですね。新潟はいかがですか。

肥田野：若者のまちづくり活動を支える場所が知られていません。福岡市にできた「水上公園」のような、まちのド真ん中に気軽に立ち寄れる、集まれる、開いて見える場所があると良いですね。

梅 元：横浜の課題はどうか

番 場：みなとみらいに「BUKATSUDO」という、自分の趣味や興味に応じてスペースを借りることができる民間施設ができました。ある目的で集まるという行為は、皆さんの都市ならお祭りがあると思いますが、横浜は地縁による帰属意識が薄いので、行為や人を通して繋がり、まちづくりに関わるのが有効かと。教育という観点なら、お母さんたちは子供の学びに関心があるので、親子と一緒に遊んでいる状況が、まちや繋がりを生むことになれば魅力的です。

梅 元：帰属意識が薄い場所は趣味や女子力を活用するという事ですね。神戸はどうか。

松 岡：広報力不足と成果をいかに示すかが悩みです。

梅 元：経済に直結する結果が必要なのですね。関わる人が元気になると、価値が生まれます。広報力不足について、桐野さんいかがですか。

桐 野：「さるく」で市民と行政の距離が近くなったので、行政的な広報をうまく利用しています。

梅 元：衰退するこの地域に、子育て世代がどうやったら戻ってくるか。市民にできることは、「地域に誇りを持つ」ということです。最後になりますが、各都市で次の世代に期待することを教えてください。

佐々木：博物館の利用がいまひとつです。親子と一緒に講座で勉強できる場を作っていきたい。学芸員も出前講座で積極的に外に出て欲しいし、双方向で広報していくと良いですね。

肥田野：支援とかまちづくりだけでなく、「デザイン」という切り口で場づくりができると、次の世代も関わってくれると思います。

番 場：長崎市の岩本さんのように、問題とされている地域の人間が発信力を持つことが全てだと思います。そういう人をまちのみんなで育てることが一番だと思います。

松 岡：関わっている地域のことを皆さんが自慢できるようになるのが私の願望です。

桐 野：実は本日、次世代がテーマということで、二十数年の開港5都市で初めて、子供たちが登場します！

(長崎居留地男声合唱団キッズコーラス部 合唱)



司 会：最後に、高尾専門監から一言お願いします。

高 尾：子供は地域の宝です。景観やまちづくりという言葉が古くなってきているかも知れません。この5都市の繋がりがこそが財産で、継承すべきものです。是非こういった会に子供部会とか、若い世代が自然と繋げられる仕組みがあると良いなと思いました。本日はどうもありがとうございました。



ウェルカムパーティ

会場：ANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒル グラバーホール
参加者：116名

概要

各都市からの参加者や長崎市内の地域の方々も含めた116名が一堂に会し、長崎ならではの食事や各都市自慢のお土産を楽しみながら親睦を深めました。長崎名物龍踊りや居留地男声合唱団によるミニコンサートなども催され、大いに盛り上がりました。



乾杯



全体風景



函館市



「世界新三大夜景」に一言物申す



新潟市



横浜市



神戸市



長崎市



「十善寺龍踊り会」による長崎伝統の龍踊り



「居留地男声合唱団」の登場で最高潮へ



歌声は会場内へ



万歳三唱



恒例の各都市お土産コーナー



長崎自慢のお料理でおもてなし



西副実行委員長挨拶



市長乾杯挨拶



原先生によるオペラ独唱



一丸FG部長による中締め

分科会1

サインでさるく長崎のまちなか軸

まちのコミュニケーションツールであるサイン。「みんなで見つけて楽しく共有」をテーマに、まちなか軸の5つのエリアを歩き、気になるサインを写真に収めワークショップで共有、サインと景観まちづくりについて考えました。



1 老舗の商家の存在感のある看板や町屋を活用した店舗のモダンなサインなど、新旧のサインが歴史あるまちなかにバランスよく調和している中島川・寺町エリア。看板に熱い視線を送る5都市チームにつられ、通りを行く人々も思わず足を止め、看板を見上げる。

行程

- オリエンテーション
- 旧香港上海銀行長崎支店記念館
- まち歩き

【チームまちなか】

市

新大工エリア

和

中島川・寺町エリア

賑

浜町・銅座エリア

【チーム居留地】

蘭

東山手・南山手エリア

華

館内・新地エリア

賑

浜町・銅座エリア

- 昼食 出島内外倶楽部レストラン
- 出島散策
- ワークショップ 出島内外倶楽部会議室
- 終了



まち歩き

長崎のまちなかを貫く一本道「まちなか軸」沿いにある5つのエリアを会場に、サインを切り口として「さるく」を行い、各エリアのサインの魅力や課題を参加者のみなさんの視点で発見してもらいました。

旧香港上海銀行長崎支店記念館に集合し、まち歩きに出発。まち歩きは、40名の参加者を「チームまちなか」と「チーム居留地」の二つに分け、昼食・ワークショップ会場の出島を目指して、それぞれ、まちなか軸の両端からスタートしました。さらに、まちなかのスケールを考慮し、各チームを10名ずつの計4つの班に分かれてまち歩きを行いました。

長崎のまち歩きの達人でもあるスタッフがガイドを務め、まちの歴史やまちネタなども交えつつ、各エリアにある特徴的なサインをスポットで紹介し、オーナーさんや設計者の想いを伺いました。また、参加者のみなさんが気になったサインを各班に専属カメラマンとして配置した若者スタッフがカメラに収めながら、サインを求めて通りから通り、路地から路地へと歩きました。



2



3



4



5



6



7

- | | | | | |
|---|---|---|---|------------------------------------|
| 2 | 3 | オランダ通りのサイン。旧外国人居留地のハイカラさを感じさせる。 | 4 | サインを活用した山手エリアの魅力発信を語る大浦居留地商店街の森会長。 |
| 5 | | 顧客、消費者の共感と信頼を得て、強いブランドイメージをつくり出すサイン。空を覆う電線がなければ…との指摘をいただいた。 | | |
| 6 | | サインを求めて路地から路地へ。新大工エリアのサインの魅力は生活感。 | 7 | 「だすま?」広場商店街のサインは大正モダンレトロがテーマ。 |

ワークショップ

午後からのワークショップでは、午前中のまち歩きで撮影した写真を元に、景観の印象評価を行いました。発表では、「ファサード」「ロゴマーク」「メッセージ」「風合い（素材）」「色合い」「緑化」といったサインのデザインコードからの評価がされたほか、サインのみならずストリートファニチャーやハートストーン、路面舗装に至るまで、長崎のまちが発する様々なメッセージの評価を行っていただきました。

ワークショップを通じて、エリアの個性を顕在化し、魅力を発信するツールとしてサインを活用することの有効性が確認されました。

参加者のみなさんからは、古いもの、新しいもの、そして和華蘭文化が混在しながら共存するおおらかさが長崎の魅力であり、これからもそれを大切にしてほしいとのメッセージをいただきました。



8



9



10



11



12



13

- | | | |
|----|---|---|
| 8 | 9 | ワークショップは熱を帯び、各班の視点から発表がされた。 |
| 10 | | チーム居留地 1 班 発表タイトル「長崎ちゃんぽん」 |
| 11 | | チーム居留地 2 班 発表タイトル「長崎ウラオモテ拝見!」 |
| 12 | | チームまちなか 1 班 発表タイトル「看板今昔物語 2016 秋物語」 |
| 13 | | チームまちなか 2 班 発表タイトル「長崎は今日も AI でいっぱいだった。」 |

まちなか軸の5つのエリア

市

新大工エリア

商店街、市場を中心とした
普段着のまち

賑

浜町・銅座エリア

長崎文化を体感し、
発信する賑わいのまち

蘭

東山手・南山手エリア

異国情緒あふれる
国際交流のまち

和

中島川・寺町エリア

和の佇まいと賑わいの
粋なまち

華

館内・新地エリア

中国文化に触れ、
食を楽しむまち

分科会 2 斜面地の未来をさるく

長崎の中心市街地周辺の斜面地は歴史的な景観が残る一方で、少子高齢化、人口流出による空き家の増加など様々な社会問題を抱えています。このような現状と斜面地で暮らすための新たな取り組み事例を視察することで、未来へと繋がる斜面地のまちづくりについて考えました。



行程

【午前】

十善寺・館内地区

唐人屋敷通り～十善寺・館内地区
十善寺コミュニティ住宅見学
電動手すり体験
東山手十二番館でティータイム

昼食 (ホテルニュータダ)

【午後】

東山手・南山手地区

グラバースカイロードで山手地区へ
南山手コーハウス見学
「つくる邸」見学
南山手地区町並み保存センターで
意見交換会



まち歩き

(午前) 十善寺・館内地区

現在、長崎市により唐人屋敷顕在化事業が進む地域を十善寺地区まちづくり協議会の八木さんと河原さんの案内で歩きました。

写真1 かつてこの地域に唐人屋敷があり、入口付近を示す象徴門（大門）も建設され、道幅も以前のほぼ倍に。

写真2 十善寺コミュニティ住宅（通称「コミ住」）は地区内の斜面に建つ市営住宅。住宅内のエレベーターで斜面地間を上下に行き来できることから住民のみならず周辺にとっても大事な通り道となっています。

写真3 石段脇に取り付けられた「電動手すり」は、バーを握るとゆっくりと動き、歩行をサポートしてくれます。今のところ社会実験段階ですが、斜面地の救世主となる日も近いかも!?

(午後) 東山手・南山手地区

昼食後、新たな取り組みで斜面地にお住まいの鮫島さんと岩本さんの案内により山手地区へ向かいました。

写真4 長崎港を見下ろす斜面に建つコーポラティブ住宅「南山手コーハウス」。矢印が鮫島さん宅。

写真5 南山手コーハウスには3世帯が暮らしています。

写真6 自治会長でもある鮫島さん。地域のみなさんと防災避難マップを作成し、地域でのいざという事態に備えています。

写真7 鮫島さん宅から歩いて約3分、築70年の空き家をシェアハウス兼オープンスペース「つくる邸」として再生させ、斜面地空き家の新たな活用を提案している岩本さん宅を訪問しました。

写真8 「つくる邸」ではさまざまな活動が行われています。詳しくは「つくる邸 長崎」で検索してみてください。

意見交換会

最後に南山手地区町並み保存センターで1日をふりかえる意見交換会を実施しました。参加者全員で和気あいあいと語り合いました。

〈主な意見〉

おもしろかったこと

- 集合住宅のエレベーターが公共の道
- 階段のへりの白ペンキには危険防止のための心遣いが感じられた
- 地形を利用した鮫島さん宅の構造
- つくる邸の取組み

気になったこと

- 階段の白ペンキ、夜は良いが雨天時は滑るのでは
- 階段で部分的に手すりがないこと
- ネコのフン
- 道路拡幅と歴史的景観維持の両立はできるのか

こうしたらよいのでは

- 階段ペンキ塗りはボランティアを募る
- 空き家を安く若い人に貸す
- 歩きは常に下るという発想



分科会 3

深堀の深イ歴史 in 深堀

長崎市南部に位置する深堀地区は3000年前の遺跡があり、鎌倉・室町時代には長崎市唯一の城下町として栄えました。平成24年度に長崎市景観計画における景観形成重点地区に指定され、歴史を活かしたまちづくりに取り組んでいます。本分科会では深堀地区を視察していただき、ワークショップによる景観まちづくりについて意見交換を行いました。

それに加え、古くから深堀藩の領土として採炭を行っていた高島や、深堀と同じく長崎の玄関口として栄えた出島も併せて散策しました。



行 程

まち歩き(深堀地区)

- ・円成寺
- ・恵比須
- ・武家屋敷通り
- ・広場整備視察
- ・深堀貝塚遺跡資料館

昼食(伊王島)

フェリー移動

まち歩き(高島地区)

- ・高島炭鉱資料館
- ほっけいせいこうあと
- ・北溪井坑跡

意見交換会

フェリー移動

まち歩き(出島和蘭商館跡)



(全体)



まち歩き（深堀地区）

案内

西 清（深堀地区まちづくり推進協議会）
峰 松巳（恵比須でまちづくり部会）
山下 定信（長崎さるくガイド）

深堀 3000 年の歴史と現代の調和を目指したまちづくり活動を探訪しました。歴史については、深堀貝塚遺跡資料館をはじめ、武家屋敷通りや色のついたえびす様を探訪しました。併せて 5 都市開港時代前後の長崎港における深堀の関わりについても知識が深まりました。まちづくり活動については、地元でワークショップを行い計画した広場の見学に合わせ、地元で製作された深堀かるたなどが配布されました。

- ① 円成寺の五色塀 ② 武家屋敷通りの石塀

昼食（やすらぎ伊王島）

昼食は長崎の海の幸を盛った刺身やてんぷらを長崎の海を眺めながらいただきました。

まち歩き（高島地区）

案内

高橋 哲夫（地域おこし協力隊）

高島地区の地域おこし協力隊員である高橋さんに案内していただき、高島炭鉱資料館と北溪井坑跡ほっけいせいこうあとを探訪しました。当日は天気恵まれ軍艦島も見ることができました。

- ③ 北溪井坑跡で集合写真

意見交換会

座長

一丸 康貴（三ツ山町犬継地区まちづくり協議会）
中野 周平（長崎県建築士会）

深堀地区まちあるきで感じたことを意見交換しました。五色塀がいい、恵比須様の色彩がいいといった良い景観についての意見や、案内板がほしい、あまり海を感じられないといった今後の課題となる意見まで様々な意見が出されました。深堀住民のみならず、参加者各人が地元のまちづくり活動に役立てる意見交換会になったと思います。

- ④ 意見交換会の様子

フェリー移動

伊王島から高島へ、高島から長崎港へはフェリーを利用して移動しました。グラバー園や水辺の森公園をはじめ、世界遺産である三菱重工造船所の各施設など海から見る長崎の景観を満喫していただきました。

- ⑤ フェリーから望む長崎市街地

まち歩き（出島和蘭商館跡）

案内

馬見塚 純治（出島復元整備室）

出島和蘭商館跡のスペシャリストである馬見塚室長に案内してもらい、出島の歴史やこれからの出島復元整備について知見を深めました。



1



2



3



4



5

11月5日(土) 18:00～21:00

参加者：56名／担当：櫻山、中村（長崎商工会議所青年部）、
田中（NPO法人長崎コンプラドール）、鉄川（長崎県建築士会長崎支部）、
野口（三ツ山町犬継地区まちづくり協議会）

オプション企画1

世界新三大夜景を眺めながらの懇親食事会

会場：出島テラス（長崎市出島町 1-1-109）

平成28年からライトアップされた稲佐山電波塔や長崎港の夜景と地元演奏家の生演奏を堪能する懇親食事会を行いました。食事会終了後、希望される方には、平成28年4月にリニューアルされた鍋冠山展望台からの夜景を楽しむオプションツアーもご用意しました。



プログラム

[18:00～] 乾杯～懇親会

司会：中村 繁（長崎商工会議所青年部）

[19:00] 生演奏

活水女子大学音楽学部OGによるピアノ、フルート、声楽（ソプラノ歌手）の生演奏。

[20:09] イルミネーションショー

長崎出身の有名人（福山雅治さん）がプロデュースした夜景と音楽のショーをお楽しみいただきました！



司会の中村さんです



演奏は活水女子大学OGのみなさんです



みなさん各都市の方と
歓談中です



音楽とともに
光が変わります。

稲佐山のイルミネーション
を見るために会場の外に
来ています。



オプションツアーで
鍋冠山展望台に行き
ました。

・世界新三大夜景
・日本新三大夜景



参加者は56名で、テーブルには各都市ばらばらに座ってもらい、なお一層の交流を深めてもらいました。途中、活水女子大学の卒業生、研究生による生演奏があり、会場は大いに盛り上がりました。最後に、会場の外部で音楽とともに変わる稲佐山電波塔のイルミネーションを堪能してもらいました。

オプション企画 2

FG だよ全員集合! DEJIMA でパーリナイツ☆

会場: 出島内外倶楽部レストラン 参加者: 45名

概要

明治期に社交場として建てられた歴史ある洋館で、若手世代の交流会を初めて開催しました。各都市参加者の活動ショートプレゼンや情報ミニブースの設置なども盛り込み、新しい繋がりによる未来への可能性が感じられる企画となりました。

※ FG=future generation (次世代の意味)



説明

鎖国時代における海外交流の象徴とも言える「史跡・出島」に建つ、出島内外倶楽部レストラン。この建物は、明治32年(1899年)にトーマス・グラバーである息子倉場富三郎、そして横山寅一郎、荘田平五郎等の発起によって長崎に在留する外国人と日本人の社交の場として設立した「長崎内外倶楽部」があった建物で、現在の建物は明治36年(1903年)にF.リンガー氏によって建てられた英国式明治洋風建築です。

そんな歴史ある社交の場で、今大会のテーマ「継承と発展～次の世代の景観まちづくり～」に因み、各都市から参加された次世代のホープと、長崎でまちづくりに興味・関心のある若手世代が一堂に会しました。

乾杯の発声の後に、早速、各都市からの参加者が取り組む活動のショートプレゼンテーションが開始。函館市の中村さんは、地域課題をICT(情報通信技術)で解決する「Codefor Hakodate」について、同じく函館市の宮川さんは、ボランティア塗装による歴史的な建造物の再生プロジェクトについて、



会場風景

新潟市の肥田野さんは、店舗などに障がい者のアート作品をまちのお店などに展示する「まちごと美術館」について、横浜市の番場さんは自身で設計された建築作品についてそれぞれお話をいただきました。

長崎市からは本大会の実行委員会参画団体がショートプレゼンを行いました。坂口さんは若手世代の貴重な交流の場

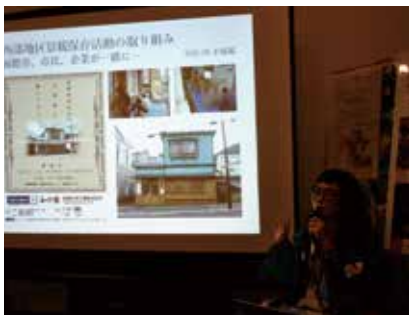
である「長崎新社会人ネットワーク」について、平山さんは景観まちづくりに関するイベント等を行う「長崎都市・景観研究所」について、岩本さんは南山手地区で斜面地のまちづくりを行う「斜面地・空き家活用団体つくる」についてプレゼンしました。

会場内には、各団体に関するミニ情報ブースも設置され、チラシやパンフレット、報告書等が並べられました。また、各都市の若者世代が中心となって準備を進めた「FG写真展」の作品も会場内に展示され、会場に花を添えました。

若者世代が交流を深める新たな取り組みでしたが、新たなコミュニティが生まれ、次回の大会での再会を約束するなど、収穫の多い企画となりました。まさに150年前のこの場所のような、「これからの日本を創る社交の場」となったのではないのでしょうか。



函館市「中村さん」のプレゼン



函館市の宮川さんのプレゼン



新潟市の肥田野さんのプレゼン



横浜市番場さんのプレゼン



長崎市の坂口さんのプレゼン



長崎市の平山さんのプレゼン



長崎市の岩本さんのプレゼン



一丸FG部会長より乾杯



函館と長崎で名刺交換



長崎市の人同士も交流



躍動感溢れる一丸FG部会長



会場から積極的な質問



函館と横浜の美女に囲まれ



「FG写真展」も実施



二次会にも沢山!!

FG 会議 会場：南山手地区町並み保存センター 参加者：12名

概要

FGとは、Future Generationの略であり、次世代という意味です。5都市の次世代を担う粋のいい若者が集い、意見交換を行いました。各都市のアピールをしつつ、今大会における各々が思ったこと、感じたことさらには次回新潟大会に向けての活動案を話し合いました。今回の企画となった写真展が大盛況であったため、次回新潟でも新たな企画を行うことで意思統一がなされました。継承と発展というテーマの名のもとに今大会より新たに設けられたFG会議により、若者のつながりが促進され、若さによる熱気が沸き立っていました。今後もこのつながりを活かして、開港5都市景観まちづくり会議を盛り上げていきますのでご期待ください！



意見交換会の様子

[良い]

- ・若い人とのネットワーク
- ・次世代にしっかり継承できる場
- ・写真展ができてよかった
- ・わきあいあいと気兼ねなく話せる
- ・ウチの地域のFGを集めたい！

[悪い]

- ・もっと若者が集ってもよい
- ・もっとコアに関わる若者を増やす
- ・発表ばかりで議論の時間が少ない
- ・スケジュールがもりもり
- ・レジェンドに若者の活動を知ってもらう

[新潟に向けて]

- ・他都市持ち込み企画
- ・鯛車をまわす
- ・ライバル感を出す
- ・プライベートなつながりにする
- ・下田と浦賀を勧誘する



結果

行政会議

会場：南山手地区町並み保存センター 参加者：10名

概要

5都市の行政担当者間で情報交換を行う会議が初めて開催されました。各都市からあらかじめ提出された議題について、先進都市より事例紹介等を行いました。積極的に景観形成を行ってきた5都市間で具体的な意見交換がなされ、有益な機会となりました。

11月6日(日) 10:00～12:00

代表者会議／全体会議2

(代表者会議) 会場=南山手地区町並み保存センター／参加者=15名
(全体会議2) 会場=旧香港上海銀行長崎支店記念館／参加者=60名

概要

代表者会議では、次回開催都市や大会アピール文案について協議し、新潟市が次回開催都市として決定しました。全体会議2では、今大会の総括、大会アピールの採択、次回開催都市である新潟市への大会旗引き継ぎが行われ、全三日間の会議は無事に終了しました。

全体会議2式次第

1. 開会

2. 各部会報告

- | | | |
|-------------|------------------|-------|
| (1) 分科会1報告 | 東山手地区町並み保存会 | 野村 孝一 |
| (2) 分科会2報告 | 斜面地・空き家活用団体つくる | 岩本 諭 |
| (3) 分科会3報告 | 深堀地区まちづくり推進協議会 | 西 清 |
| (4) OP企画1報告 | 長崎商工会議所青年部 | 樫山 周一 |
| (5) OP企画2報告 | 三ツ山町犬継地区まちづくり協議会 | 一丸 康貴 |
| (6) 代表者会議報告 | 長崎市まちづくり推進室長 | 向井 逸平 |

3. 大会アピール宣言

三ツ山町犬継地区まちづくり協議会 岡村 則満

4. 次期開催都市あいさつ

新潟市都市景観形成市民団体連絡協議会 会長／
NPO法人にいがたエキナン会 副理事長 肥田野 正明

5. 大会旗引き継ぎ

6. 謝辞

開港5都市景観まちづくり会議長崎大会実行委員会
委員長 桐野 耕一

7. 閉会

次回開催都市(新潟市)ごあいさつ

新潟市 新潟市都市景観形成市民団体連絡協議会 会長／
NPO法人にいがたエキナン会

副理事長 肥田野 正明

今大会は「継承と発展」という明確なテーマで開催されました。長崎では、小さいお子様から女性、若者が協働して、まちづくりと同時に「人づくり」をやっていることが伝わってきました。若者という切り口で言えば、社会構造が変化するなかで地域課題に風穴が見えた気がしました。そして、他都市が主役になれた大会は初めてだったのではないかと思います。皆さま本当にありがとうございました。来年、新潟でお待ちしております。

謝辞

開港5都市景観まちづくり会議長崎大会実行委員会
委員長 桐野 耕一

この三日間、天気に恵まれとても嬉しかったです。「継承と発展」をテーマに、景観まちづくりの一步手前で、「楽しいことを一緒にやる」という感覚で様々な企画をいたしました。関わってくれた若い人たちが「楽しかった」と感じてもらえれば、次に繋がると思います。そんな緩やかな長崎大会でした。「人の家に遊びに行く」ことは、始めて以来だったかと思っています。来年は大好きな新潟へ若者を沢山連れていきます。三日間、本当にありがとうございました。





開港5都市景観まちづくり会議 2016 長崎大会

大会アピール

山々を見上げると木々は色づき、まちを吹き抜ける爽やかな秋風は冬の足音を感じさせる。今日もまた、長崎の港は穏やかである。

1571年の開港から445年、「和華蘭」の多様な歴史と文化により、異国情緒あふれる景観が形成された長崎市で、開港5都市景観まちづくり会議 2016 長崎大会が開催された。

いま、全国各地で、人口減少や少子高齢化などの社会構造の変化により地域をとりまく状況はますます深刻さを増している。こうした中、開港5都市の市民が取り組んできた景観まちづくり活動をいかに次の世代に継承するかが大きな課題となっている。

2016 長崎大会では「継承と発展～次の世代の景観まちづくり～」をテーマに、5都市の市民が集い、こうした課題を克服し、景観まちづくりを発展させていくための方策について熱く意見を交わし、互いの友情を深めた。

本大会に参集した市民が、語り合い、[※]さるいて得た知見やアイデアを糧とし、各都市の歴史と文化に根差した景観まちづくりを推進し、そして次の世代に継承していくことを確認し、ここに宣言する。

※さるく＝長崎弁でぶらぶら街歩きをするという意味。

平成28年11月6日

開港5都市景観まちづくり会議 2016 長崎大会 参加者一同

【思ひ出写真館】



長崎大会実行委員会の様子



初の試みFG部会



市役所ロビーでジャック広告



当日受付の様子



FG写真展



現役最古の路面電車で移動



まちなかで市長とバッテリー



FGによる紅茶サービス



船に乗って高島へ



高島地区地域おこし協力隊の高橋さん



岩本部会長の斜面地ガイド



各都市で交流



メインビジュアルを作成した金氣さん



お天気に恵まれた三日間でした



分科会1が雑誌「SINS」に掲載!

開港 5 都市景観まちづくり会議の沿革

回	開催年	開催都市	大会テーマ
第 1 回	1993年(H5) 8月	神戸	坂のまちと旧居留地
第 2 回	1994年(H6) 10月	長崎	市民主導のまちなみ・まちづくり
第 3 回	1996年(H8) 2月	新潟	港といっしょになった都市、一体となった都市って何だろう？ 新潟らしさの提案
第 4 回	1996年(H8) 10月	函館	北の開港都市に民の系譜を探る
第 5 回	1997年(H9) 10月	横浜	開港都市の伝統・文化を活かした街づくり
—	1998年(H10) 10月	神戸	【代表者会議】
第 6 回	1999年(H11) 10月	神戸	開港都市の未来(あした)を探る ～共生する地域文化～
第 7 回	2000年(H12) 10月	長崎	開港都市の遺伝子を伝える ～長崎から21世紀に発信する都市文化の創造～
第 8 回	2001年(H13) 8月	新潟	水都(みなと)にいがた夏!!ようこそ ～新世紀の開港都市文化を暑い熱い新潟で語り合う～
第 9 回	2002年(H14) 10月	函館	北の国からのメッセージ いいべや「港・まち並み」考えよう
第 10 回	2004年(H16) 3月	横浜	150年の歴史とにぎわいづくり
—	2004年(H16) 12月	神戸	【代表者会議】
第 11 回	2005年(H17) 10月	神戸	開港都市のさらなる飛躍 ～明るく、元気!!～
第 12 回	2006年(H18) 9月	長崎	開港によってもたらされた文化と歴史の継承
第 13 回	2007年(H19) 11月	新潟	田園と港が会えるまち、政令指定都市・新潟で語り合おう 実りの秋にいがたへ来なせや
第 14 回	2008年(H20) 10月	函館	新・函館探訪 ～呼吸(いき)づくまちを未来へ繋げ～
第 15 回	2009年(H21) 9月	横浜	150年の贈りもの ～新たな旅立ちへ～
第 16 回	2010年(H22) 10月	神戸	共生のまちづくり ～時間・空間・文化を超えて～
第 17 回	2011年(H23) 11月	長崎	愛・絆・希望 5港の祈り ～長崎から～
第 18 回	2012年(H24) 10月	新潟	新潟の「らしさ」を求めて ～過去・現在・未来へのつながり～
第 19 回	2013年(H25) 9月	函館	再発見!"ひと"と"まち"をつなぐもの ～開港と食とラボ～
第 20 回	2014年(H26) 10月	横浜	開港 5 都市の未来 これからもココから
第 21 回	2015年(H27) 11月	神戸	開港都市からの発信 ～わたしたちのまちづくり～
第 22 回	2016年(H28) 11月	長崎	継承と発展 ～次の世代の景観まちづくり～

開港5都市景観まちづくり会議規約

(名 称)

第1条 本会議の名称は、「開港5都市景観まちづくり会議」（以下「景観まちづくり会議」という）と称する。

(目 的)

第2条 景観まちづくり会議は、安政5年に開港港に指定された函館、新潟、横浜、神戸および長崎の5都市（以下「開港5都市」という）の市民が景観、歴史、文化、環境などを大切にし、愛着をもってそだて、個性豊かで魅力のあるまちづくりを行うため、相互に交流を深め、課題を協議し、開港5都市のまちづくりの推進に資することを目的とする。

(活 動)

第3条 景観まちづくり会議は、前条の目的を達成するために次の活動を行う。

- (ア) 情報の交換
- (イ) 共通の課題に対する調査研究
- (ウ) その他、前条の目的達成に必要な活動

(組 織)

第4条 景観まちづくり会議は、開港5都市のまちづくりを実践する市民団体等で構成する。

- 2 必要に応じ、関係諸機関、団体等の参加を求めることができる。

(会 議)

第5条 景観まちづくり会議の会議は、定期大会および代表者会議とする。

- 2 定期大会は、原則として年1回会長が招集し開催するものとし、代表者会議は、会長が必要に応じて招集することができる。

(役 員)

第6条 景観まちづくり会議に会長を置く。

- 2 会長は、定期大会開催都市の実行委員会又はまちづくりを実践する市民団体等の代表者をもって充てる。
- 3 会長は、本会議を代表し、会務を総理する。
- 4 役員任期は、定期大会終了から次期定期大会終了までの間とする。

(事務局)

第7条 景観まちづくり会議の事務局を会長都市の実行委員会またはまちづくりを実践する市民団体等に置く。

(規約の改正)

第8条 本規約の改正は、景観まちづくり会議の代表者会議の議決によらなければならない。

附 則

本規約は、平成11年10月11日から施行する。



開港5都市ガールズ

開港5都市景観まちづくり会議長崎大会実行委員会規約

(名 称)

第1条 本会の名称は、「開港5都市景観まちづくり会議長崎大会実行委員会」（以下「実行委員会」という）と称する。

(目的及び事業)

第2条 実行委員会は、安政5年に開港港に指定された函館、新潟、横浜、神戸及び長崎の5都市（以下「開港5都市」という）の市民が、景観、歴史、文化、環境などを大切に守り、愛着を持ってそだて、個性豊かで魅力のあるまちづくりを行うため相互に交流を深め、課題を協議し、次に掲げる事業を行うものとする。

- (1) 開港5都市景観まちづくり会議長崎大会の企画、運営
- (2) その他目的達成に必要な事業

(組 織)

第3条 実行委員会は、長崎市景観まちづくり連絡協議会及び第2条の目的に賛同する関係諸機関、団体等で構成する。

(役 員)

第4条 実行委員会に、以下の役員を置く。

- (1) 実行委員長 1名
 - (2) 副委員長 1名
 - (3) 会計 1名
 - (4) 監事 1名
- 2 役員は、長崎市景観まちづくり連絡協議会の役員をもって充てる。
 - 3 実行委員長は、会議を総理し、実行委員会を代表する。
 - 4 副委員長は、実行委員長を補佐し、実行委員長に事故あるときは、その職務を代理する。
 - 5 監事は会計を監査する。

(会 議)

第5条 実行委員会は、実行委員長が招集する。

- 2 実行委員会は、委員の2分の1以上が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 実行委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、実行委員長の決するところによる。
- 4 実行委員長は、必要に応じて実行委員会の関係者の出席を求め、意見を聴取することができる。
- 5 実行委員会を円滑に運営するために部会を置く。

(事務局)

第6条 実行委員会の事務局は、長崎市まちづくり推進室内に置く。

- 2 事務局に事務局長を置き、長崎市まちづくり推進室長をもって事務局長とする。

(経 費)

第7条 第2条の事業に要する経費は、負担金、協賛金、参加費及びその他の収入をもって充てる。

(その他)

第8条 この規約に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、実行委員長が実行委員会に諮って定める。

附 則

- 1 この規約は、平成28年5月18日から施行する。
- 2 この規約は、事業終了後4ヶ月をもって廃止する。

開港5都市景観まちづくり会議 2016 長崎大会

主催	開港5都市景観まちづくり会議長崎大会2016実行委員会 平和公園地域まちづくり協議会 十善寺地区まちづくり協議会 深堀地区まちづくり推進協議会 三ツ山町犬継地区まちづくり協議会 東山手地区町並み保存会 南山手地区町並み保存会 大浦青年会 大浦居留地商店街	NPO法人長崎コンプラドール 長崎商工会議所青年部 斜面地・空き家活用団体 つくる 長崎新社会人ネットワーク 長崎都市・景観研究所 一般社団法人 長崎県建築士会 長崎支部 一般社団法人 ナガサキベイデザインセンター 浪の平地区まちづくり協議会 長崎県屋外広告美術協同組合
----	---	---

共催 長崎市

役員	実行委員長 大浦青年会 桐野 耕一 副実行委員長 深堀地区まちづくり推進協議会 西 清 会計 東山手地区町並み保存会 野村 孝一 監事 三ツ山町犬継地区まちづくり協議会 岡村 則満
----	---

参加団体 【函館市】

Code for Hakodate
一會の会
函館の歴史的風土を守る会
和信化学工業株式会社
函館市都市建設部まちづくり景観課

【新潟市】

NIIGATA光のページェント実行委員会
NPO法人にいがたエキナン会
サンクプロム石山商店街協同組合
にいがた花絵プロジェクト実行委員会
ユニバーサルカラープランナー協会
協同組合新潟あきんど塾
新潟学の会
万代シティ商店街振興組合
歴史都市新潟研究会
新潟市都市政策部まちづくり推進課

【横浜市】

NPO法人横浜シティガイド協会
スマートイルミネーション横浜
宇徳ビル ヨンカイ
横浜市都市整備局都市デザイン室

【神戸市】

旧居留地連絡協議会
新長田駅北地区東部いえなみ委員会
神戸元町商店街まちなみ委員会
南京町景観形成協議会
美しい街岡本協議会
北野・山本地区をまもりそだてる会
有馬まちなみ景観委員会
神戸市住宅都市局計画部
まちのデザイン課

【長崎市】

平和公園地域まちづくり協議会
十善寺地区まちづくり協議会
深堀地区まちづくり推進協議会
三ツ山町犬継地区まちづくり協議会
東山手地区町並み保存会
南山手地区町並み保存会
大浦青年会
大浦居留地商店街
NPO法人長崎コンプラドール
長崎商工会議所青年部
斜面地・空き家活用団体 つくる
長崎新社会人ネットワーク
長崎都市・景観研究所
一般社団法人
長崎県建築士会長崎支部
一般社団法人
ナガサキベイデザインセンター
浪の平地区まちづくり協議会
長崎県屋外広告美術協同組合

協賛

(有)アート長崎
ANAクラウンプラザホテル長崎グラバービル
(有)池田屋
大浦保育園
岡村設計
九州オリエント測量設計(株)
京呉服桐野
(株)共立技研
(株)霜田塗料産業長崎支店
(株)谷川建設
(有)鉄川進一級建築士事務所
(有)東和電機
(一社)長崎県建築士事務所協会長崎支部

(公社)長崎県宅地建物取引業協会長崎支部
(福)長崎市社会福祉事業協会 桐ノ木保育園
(有)長崎機電サービス
錦建設工業(株)
(有)野口鉄工所
(株)PAL構造
(株)光総合建設
(有)秀島建設
(有)ベルカラーエンタープライズ
(株)メモリード
(株)森美工務店
山電(株)
(株)ライト建築設計事務所



開港5都市
景観まちづくり会議

開港5都市景観まちづくり会議
長崎大会 実行委員会